2014年度　日本農業経済学会　第１回幹事会　議事録

開催日時：2014年6月22日（日）　13:00～16:30

会　　場：東京大学農学部１号館３F　農業・資源経済学専攻会議室

出席者：生源寺会長，福井副会長（学会誌），玉副会長（学会賞・国内学術交流），米倉副会長（国際交流），中嶋副会長（企画），北川理事（財務），松下理事（財務），清水理事（和文誌編集），伊東理事（英文誌編集），福与理事（学会賞・国内学術交流），不破理事（国際交流），能美理事（企画），梅津理事（情報），櫻井理事（庶務），野見山会員（開催校代表），農林統計協会・武石参事（事務局）

欠席者：なし

１．今後の諸会議のスケジュールについて

* 今年度の主要会議の開催日時について，以下のとおり決定した。

第１回常務理事会　7月26日（土）15時より

（拡大企画委員会　　1月11日（日））

第２回幹事会＆常務理事会　　3月8日（日）午後

　　第３回幹事会＆常務理事会　　3月27日（日）（大会前日）

* 会場は，大会前の会議を除き，東京大学農学部１号館で開催することにした。
* 昨年度は10月にも幹事会を開催したが，今年度は会務の進捗状況をみて判断することにした。

２．各担当の業務について

* 各担当理事および副会長より，前期担当理事からの引継の状況と，神戸大学大会以降の進捗状況が報告された。また重要な事項について意見交換を行った。

[情報]

* J-STAGEでの和文誌の公開状況，JJRE誌にISSNコードが認められたこと，論文集の様式が変更されたこと（英文アブストラクト等）が報告された。
* 科学研究費・研究成果公開促進費のデータベース事業が採択され，交付に向けての手続きを行った。
* 名簿について，今後は無償配付を行わないことを確認した。事務局より補足説明があり，今後の有償での配付および会員原簿管理の具体的な方法を検討することになった。

[編集]

* 最新の編集業務について報告があった。
* 論文集の英文論文をJJRE誌に合冊化した経緯について説明があった。
* 本誌と論文集の改革を検討する拡大編集委員会が6月21日（土）に開催された。改革の具体案として，1)上記の合冊をやめてJJREと論文集を元に戻す案と2)論文集の和文報告論文を本誌に取り込む案が検討され，2)案を選び，幹事会に諮ることになった。
* 幹事会でも2)案を検討し，同案の方向で改革を進めることを了承した。
* 大会特集号の発行時期と具体的な編集方法について意見交換を行った。

[財務]

* 財務をめぐる諸問題の引継を円滑に行うため，北川理事が2014年度も引き続き財務担当理事となること，松下新理事が2016年度も財務担当理事となることを確認した。
* 資料に基づき、近年の財務状況について詳細な報告があった。
* 学生会員の会費滞納が多いことが報告され，対処方法について意見交換を行った。

[企画]

* 資料に基づき，担当する事項と今後の企画関連スケジュールの確認を行った。
* 2015年度並びに16年度の大会シンポジウム企画が提案された。「日本農業をモデル化する」という共通テーマのもと，15年度には「アジア農業の発展過程―日本農業の普遍性」，16年度には「戦後農業の展開過程―日本農業の発展力」をテーマとする。想定される分析課題とコメントの視点も提案された。
* 提案内容について，2015年度のシンポジウム案を中心に意見交換を行った。出された意見を参考に，次回常務理事会にて座長と報告者，想定される分析課題についてさらに検討することになった。
* 大会シンポジウムへの会員の関心を高めることについて意見交換を行った。

[学会賞・国内学術交流]

* ５月に開催された日本経済学会連合評議員会の様子が報告された。各種助成事業があることと，英文年報に伊東理事が執筆した学会動向が掲載されたことが紹介された。
* 昨年度開催した関連学会の学会誌編集担当者会議を，本年も9月18日（木）に東京大学で開催（農業経営学会に合わせて）することを確認した。
* 日本農学進歩賞への学会としての候補者推薦方法について，今後検討することになった。
* 学会賞の選考スケジュールと，学会賞についての広報を工夫することを確認した。

[国際交流]

* 引継資料に基づき，これまでの国際交流，特に中国・韓国・台湾との交流の経過について説明があった。
* これまでのアジア農業経済学会への関わりについて説明があり，ダッカ大会（10月開催予定）への準備金拠出状況を確認することになった。
* 東京農工大大会にて日韓シンポジウムを開催する必要性があることを確認した。

[庶務]

* 会則と様々な細則，内規の間に齟齬が生じている箇所が多く見受けられるので，修正・改正すべき点を早期に整理することになった。
* 地区代表常務理事の選出方法ないし経緯について，次回常務理事会で確認することになった。
* 前期からの引継事項として庶務理事の２名体制化と１年おき交代制があるが，実際に変更する場合は関東地区理事会で協議する必要があることを確認した。

３．2015年度東京農工大学大会について

* 野見山大会実行委員長より，現段階の準備状況が報告された。講堂のキャパシティの制約があるため，シンポジウムではもう１カ所会場を準備し，本会場の様子を中継することになった。
* 事務局より，神戸大会の記録が参考資料として渡された。
* 今大会でセッティングする会合・イベントについて確認を行った。
* 野見山大会実行委員長には今後諸会議に参加いただくことになるため，開催時期まで会長指名理事になっていただくことを了承した。

４．その他

* 農林統計協会・武石参事より，学会が協会に委託している業務内容と事務局の体制について，資料に基づき説明を受けた。
* 学会誌編集の改革が進んでおり，報告・検討すべき事項も増えているため，次回常務理事会より，論文集編集担当の草刈前副会長にも会議に参加いただくことになった。

【次回の会議】

第１回常務理事会　7月26日（土）15時より

　東京大学農学部１号館３F　農業・資源経済学専攻会議室にて開催